



読字 萩原田 親

No. 615

2010/9/15

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0045 東京都文京区
西新井1-1-1 東武ビル3階

日中友好協会
岡山支部
〒710-8256
岡山市東区3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号11所
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒712-8911
倉敷市遊島中央1-8-4
(宮地方)
TEL/FAX:086146-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



日中友好協会岡山支部

第3回理事会報告

創立60周年記念月間の取り組みを成功させよう！

9月7日、日中岡山の理事会をリニューアルされた竹内理事長宅で開き、軽食持参で9名の理事が出席しました。

貝吹理事のときばきした司会で、議事が進行しました。主な内容を箇条書きで紹介しま

(一)8月12日から17日まで中国語講座生と理事の10名が参加した、内モンゴル旅行で、馬さん一族の歓待に感謝する話や西森・稲葉理事の果てしなく続くおしゃべりに、竹内夫妻が〇〇〇〇したなど楽しい報告がなされました。

(二)マスコミによる中国脅威論が、経済や安全保障の問題に絡んで強まる中、日中友好運動60周年の歴史から学ぶことの大切さを確認しました。

(三)日中創立60周年記念月間の取り組みについては

①本部が出版する「日中友好運動のあゆみ」を50冊購入し、記念集会などで販売(1冊600円)することを決めました。

②9月12日の中国料理教室



2010/09/07

は、馬老師が担当する講座生を中心に現在20名の申し込みがあると報告されました。

③9月18日の柳条湖事件79周年の宣伝行動は、できるだけ多くの理事が参加できるように努力することを確認しました。

④9月26日の記念集会については、現在ハガキでの参加申し込みと理事、太極拳会員など合わせて32名、50名の目標にあと18名です。目標達成に理事会として全力で取り組み決意を固めました。また、当日の

進行、座席表の作成などの諸準備の担当を決めました。

(四)その他(当面の日程の確認)

①10月2日、中国語講師・講座生と日中岡山理事との話し合い。

②10月9日、本部主催の協会創立60周年記念シンポジウムに竹内理事長と小林事務局長が参加。

③10月24日、総社で開催される岡山県母親大会に参

倉敷支部理事会

9・18を日中不再戦、日中友好の日としよう

倉敷支部が街頭行動を決める

9月3日に開かれた日中友好協会倉敷支部の理事会では、第4回中国問題文化講座の成功、日中友好協会創立60周年記念集会の成功と共に、9月18日の柳条湖事件の日に、過去の歴史を正しく受けとめ、日中不再戦の記念日とするため、倉敷駅前行動を行うことを決めました。また、12日の岡山

県の満蒙開拓の講演のあと、10月に予定している満蒙開拓団のあとを訪ねる中国東北の旅への参加者をさらに募ることになりました。

9月18日は、中国東北地方の

加。(日中岡山が平和分科会を担当)

会の途中で、青木理事の指導で「東京―北京」を合唱するなど終始なごやかな雰囲気で見ました。最後に60周年記念集会の最終打ち合わせを兼ねて、次回理事会を9月21日(火)10時30分～12時30分(民学生会館で開くこと)を決めて終わりました。

小林軍治



奉天(いまの瀋陽)近郊で、日本の関東軍の手によって南満州鉄



内モンゴルへの旅 写真

写真撮影・編集 近藤美津夫氏



道の線路が爆破された日です。日本はこの事件を中国軍のしわざであるといつわって中国に対する軍事行動を開始し、翌年初頭までには満州全土を制圧しました。そして、その翌年には、カイライ国家「満州国」をつくりました。この「満州事変」が本格的な中国侵略戦争への第一歩となりました。

中国では、この日を「国恥の日」とさだめ、「この日を忘れるな」と国民に呼びかけています。

日中友好協会では、この事件の歴史を正しく受けとめ、この日を「日中はふたたび戦わず、日中友好の日としよう」と広く国民に訴える日としています。

栗本泰治

第80回日中文化講座

「いまの中国をどう見るかー映画・漫画を通してー」

石子順氏 講演・24

さきほどいきました、豊子愷の絵は左側の三点です。①が豊子愷が最初の頃に描いたもので、日本の落谷虹児の叙情画の手法がそのまま使われている。



落谷虹児というのは、叙情画で西洋風なだけけど日本人を良く描いた人だったんです。魯迅も上海で落谷虹児画集を自分の手で出したぐらい、魯迅も落

谷虹児の絵が気に入っていたんです。豊子愷も1921年、東京で落谷虹児、もうひとつ竹久夢二の絵に出合っただけは絵を描くんです。色彩画ではなく筆でペンで絵を描くということになります。①、②、③はそのころの絵です。一番初期のもので、2番目はピクニックで子どもたちが木の上に登ってリンゴ食べている、それだけなんです。3番目は1937年ごろに描かれたものなんです。これは子どもを養えなくて、施設に、引き出しがあるんですよ。孤児院なんか、引き出しに養えなくなつた子どもを入れて引き出しを閉めると向こう側にこの子どもはいつてしまう。その情景を描いたもので、最後のキスというタイトルがついています。我が子と

分かれる若いお母さんを描いています。対照的なのは右下に犬の親子を描いています。犬の親でさえ、ちゃんと子どもを養っているのに、何で人間の親は人間らしく我が子を育てられないのかということ、豊子愷は人間と犬を対比する事によって、この犬を入れたことよって、若

いお母さんの気持を画面に溢れさせている。この辺が豊子愷はすごいなあと思います。こんな感じの絵を筆でさらさらと描いています。中国で漫画という言葉と、漫画という概念、笑いもあつて風刺もあつて、懐かしさもあつて、そしてふつと暖かくもあつて笑えるようなそういう絵を豊子愷が描いたんですね。これが中国に広がっていくんです。つづく

内モンゴルへの旅(2)

日中友好協会岡山支部中国語講座
月曜クラスのプチ語学留学

今回の旅で最も印象に残っているのは、モンゴル・ゲルを訪ねたときです。二日目の午後、道路に面した草原にそのゲルはありました。道路はかなり高い位置にあるため、急傾斜の草地を、バスの運転手がまず下を下りていきました。私たちは何をするのかわかりませんが、道路の下には川が流れていて、ゲルとの間に小さな橋がかかっています。その橋の向こう側には犬が一匹、ウロウロしています。まるで門番のように、警戒しているように見えます。草原に放牧してある家畜たちを守るために、飼われているようです。さらにゲルの向こう側にも犬がもう一匹、家畜の近くで警戒しているように見えます。

今回の旅で最も印象に残っているのは、モンゴル・ゲルを訪ねたときです。二日目の午後、道路に面した草原にそのゲルはありました。道路はかなり高い位置にあるため、急傾斜の草地を、バスの運転手がまず下を下りていきました。私たちは何をするのかわかりませんが、道路の下には川が流れていて、ゲルとの間に小さな橋がかかっています。その橋の向こう側には犬が一匹、ウロウロしています。まるで門番のように、警戒しているように見えます。草原に放牧してある家畜たちを守るために、飼われているようです。さらにゲルの向こう側にも犬がもう一匹、家畜の近くで警戒しているように見えます。

ヤチベットの犬は、大変危険(狂犬)の恐れもある)だと考えていましたので、どうするかと心配していました。運転手の張さんはいとも簡単にその犬を手なずけてしまいました。犬はお腹をみせて、なでてもらっています。びっくりにしていると、私たちのほうへ下りてくるように、合図をしてきます。そうは言われても、こちらは怖いので、すぐには近寄れません。橋の近くまでは寄っても、渡るのは無理です。もうひとりの運転手(実は荷物が多すぎて、荷物専用の車がもう一台)が、大丈夫というように私たちを橋まで迎えに来てくれます。おそろおそろ橋を渡ると、犬はまだ子どものようですし、彼らが怖くないよともいうように、犬を撫でまわして

真田紀子 (写真は一面下段に)

2011年カレンダー「中国悠久の旅」 今年も目標は500部 定価1200円 販売はじまる

2011年度カレンダーの販売が間もなく始まります。

今年も岡山支部で400部、倉敷支部で100部の目標を立てました。

これまでの7年間、多くのみなさんのご協力で販売活動は順調にすすみました。

日中岡山支部、倉敷支部、中国帰国者の日本語教室それぞれの財政に大きな寄与をしてきました。

2003年...335部

2004年...460部

2005年...580部

2006年...700部

2007年...520部

2008年...600部

2009年...500部

中国「残留孤児」訴訟支援の中から生まれた、中国帰国者の日本語教室は、現在岡山・総社・倉敷教室と県下3地域で行われています。おかやま教室は、長岡会場で週2回と福祉プラザさいでんで週2回そして高島公民館で週2回の計6回開かれています。

これらの日本語教室の支援及び、中国帰国者との交流などにカレンダーの収益の一部があてられています。

今年、1950年10月1日、岡山県井原市出身の内山完造氏を初代理事長として日本中国友好協会が結成されてから、60年の記念すべき節目の

年です。

この記念すべき年にカレンダーの販売活動が財政の寄与だけでなく、中国に対する理解を広げる助けになればと思っております。皆様のご協力を期待しております。

9月末には現物が到着します。左記の連絡先にお申し込みください。

カレンダー購入の申し込み先

- ☆ 日中友好協会 岡山支部
電・FAX 086-272-3010(竹内和夫方)
電・FAX 086-277-2470(小林軍治方)
- ☆ 日中友好協会 倉敷支部
電・FAX 086-446-2711(宮地義男方)
- ☆ 総社日本語教室 事務局
電・FAX 0866-99-2650(西森文子方)

次回の新聞発送作業は9月21日(火)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

伊丹 和
小林 内
竹内 内
竹三 垣